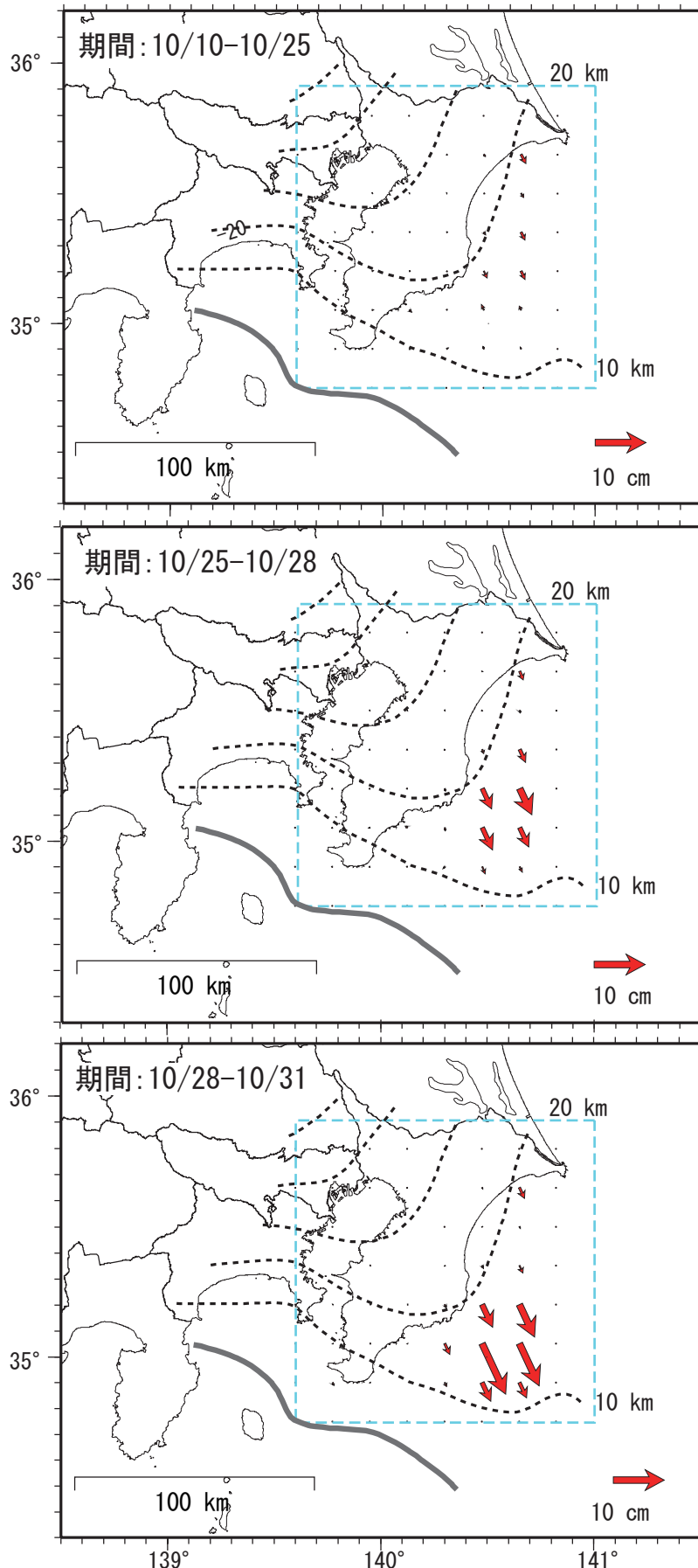


## 推定されたプレート境界面上の滑り分布

房総半島沖合のフィリピン海プレートと陸側のプレートの境界で10/25以降で最大約14cmの滑りが推定された。滑り領域の中心は10/28以降南へ移動している。



- ・ 赤矢印は陸側のプレートのフィリピン海プレートに対する動きを示す。
- ・ 推定マグニチュードは、10/25-10/31間でMw6.5(剛性率33GPa)。
- ・ 青点線の長方形はプレート境界滑りを推定した領域である。
- ・ 黒点線はフィリピン海プレート上面の等深線を示す。